

○12番 遠藤優奈君

長峡中学校3年、遠藤優奈です。私の地域は高齢化が進んでいて、お年寄りだけで暮らしている方々が増えてきています。高齢者だけの暮らしだと、日ごろから困っていることもあるだろうし、詐欺等の事件に巻き込まれやすくなっていると思います。

高齢者が安心して暮らしていけるように、行橋市ではどのようなことをされていますか。

○後半議長 石川蒼真君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えさせていただきます。まず、空き家や空き地といった問題について、お答えさせていただきますと思います。

議員のおっしゃるように、高齢者世帯、特にひとり暮らしの高齢者世帯が増加してきている状況にあります。その方が亡くなられた結果、住んでいた家が空き家になるというケースが増えてきております。

家や土地に関しては、所有者やその相続人による管理が原則のため、対策としては、活用と除却の2つのサポートを行っております。もうちょっと詳細をお話しますと、まず活用につきましては、賃貸、貸したり、それから売却、売ったりすることによりまして、空き家や空き地の発生を抑えることで、平成29年度から、行橋市空き家バンクといったものを運営しております。売却や賃貸の相談を受けた物件情報を、ちょっと難しい言葉がたくさん出てきていますけれども、土地や建物の情報などを市のホームページや全国の空き家情報が紹介されているホームページで紹介をさせていただいています。

それから除却とは、活用が困難になった家を壊して、発生した空き家をなくすことで、古くなって大変危険な空き家を除却、なくすということですね、これに対する補助金を出しております。

この他にも福岡県の空き家活用サポートセンターと一緒にしまして、民間の専門家の方も同席して空き家の相談会なども開催しております。相談会では、議員の質問にもある、ひとり暮らしの高齢者の方から、いま住んでいる家についての相談を受けることもございます。

行橋市に限らず、空き家や空き地は全国的にも増加しておりまして、大きな課題となっていますため、今後も継続的に対策に取り組んでまいりたいと思っております。

それから、まとめて福祉のほうもお答えさせていただきたいと思います。

これもちょっと情報量が非常に多いんですけれども、まず福祉につきましては、地域で暮らす高齢者の皆さんの様々な悩みや相談事案に対応するため、中学校区ごとに高齢者

相談支援センター、これを6箇所設置しています。この相談センターには、保健師・看護師や社会福祉士、ケアマネジャーなどの専門職の方たちがいまして、ひとり暮らしを続けることが不安になった、あるいは、高齢者の方の認知症が心配、そういった御相談に対応して、福祉サービスや介護サービスを行っています。

これを、ちょっと詳細を説明していきますと、3つほどありますけれども、まず1つ目として、高齢者の方が認知症で行方不明になった場合などに備えて、高齢者等SOSネットワーク事業といったものを行っています。これは、行方不明になることが心配な高齢者の方の情報を事前に行橋市に登録していただきまして、申し出があればGPS端末を貸し出す事業であります。

そして2つ目は、緊急通報システム事業といったものがあります。これは、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫妻世帯で、健康に不安があり、緊急時の連絡手段の確保が難しい方の自宅に緊急通報装置を設置しまして、病気など非常事態になった時にボタン一つで状況確認ができ、救急車などが駆けつけることができる事業となっております。これは月に1回の声掛けサービスもありますので、見守りも兼ねた内容となっていて、本人や御家族の方が安心して生活できるものとなっております。

そして3つ目ですが、これは、行橋あんしん情報セットの配布事業です。これは、もとと議員提案で始まったものでありますけれども、これは、高齢者相談支援センターの職員たちが、高齢者家庭へ訪問して配布するものでありまして、かかりつけ医や緊急連絡先、また薬の情報などを、あんしん情報シートという紙に、まず記入しまして、それを専用容器に入れて、分かりやすいように冷蔵庫に備え付けておくものであります。

救急車を呼んだ時に消防署の救急隊員などが見ることができまして、スムーズに医療機関への搬送につながることができるものとなっています。

その他にも先日マスコミなどでも放送されましたけれども、とびうめネットといったものがございます。これもですね、いま申し上げたようなお話にかなり近いような内容でございますけれども、詳しくは、またこれはネットで調べていただければ、とびうめネットといったものも出てきますので、ご覧いただければと思います。

また、最後に、もう1点なんですけれども、高齢者、認知症の方々の、やはりどうしても判断力がちょっと落ちてくるようなことも実際にあります。そして高齢者の方々の詐欺被害なども多発している現状があります。

そこで、こうした消費者被害から高齢者の皆様方を守るために、行橋市広域消費生活センターや行橋警察署、また高齢者相談支援センターなどの関係機関が、消費者安全確保地域協議会といったものを組織しております。消費者トラブル、被害に関しての未然防止、拡大防止、早期発見、早期対処に努めると共に、啓発活動を行いながら高齢者の皆様に詐欺被害などから守るようにしております。

いろいろたくさん申し上げましたけれども、市としましては様々な事業を行っております。遠藤議員がおっしゃるように、ひとり暮らしの高齢者の方々や認知症の方を気に留める、そういったことが非常に重要であろうと思っております。

そして、ぜひですね困ったことがありましたら、高齢者相談支援センターを御紹介いただいたりしても、またありがたいなと思います。以上でございます。

○後半議長 石川蒼真君

遠藤議員。

○12番 遠藤優奈君

私は、これからも気を付けて、声掛けや意識などをして見守っていきながら、高齢者相談支援センターのことなども教えてあげたいと思います。

これで私の質問を終わります。ありがとうございました。